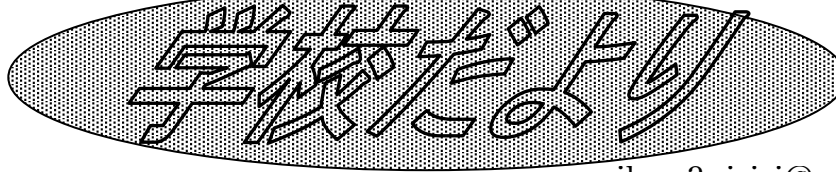


2月号

光あふれる西柴



にしきじら



令和5年1月31日
横浜市立西柴小学校
横浜市金沢区西柴 4-23-1
Tel. 045-783-1182
校長 柴原 美樹子

e-mail y3nisisi@edu.city.yokohama.jp<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishishiba>

寒さに負けず遊んでいます

児童支援専任 坂本 友美

節分は季節の変わり目のことで、本来であれば一年に4回あるそうです。しかし現在では、この立春の時期を節分と言っています。冬から春に変わる季節の変わり目は病気になりやすく、災いを鬼に見立てて退散させるという意味で豆をまきます。これは中国の風習が伝わったものとされており、豆は「魔滅（まめ）」に通じ、無病息災を祈る意味があるそうです。感染症という「魔」を「滅」することを期待し、豆まきをして明るい気持ちで春を迎えたいと思います。

学校では感染症対策を講じながら、さまざまな活動を通して学びを続けています。12月から1月にかけて、縦割りグループ遊びを行いました。6年生は、1年生から6年生までみんなが楽しめるようにルールを工夫しながら、縦割りグループごとにドッチビー（フリスビーの柔らかいもの）や鬼ごっこ等、遊びの計画を立てました。いつもより15分長いロング昼休みに、寒さに負けず生き生きと遊ぶ子どもたちの姿が見られました。コロナ禍でこれまでの2年間、なかなか思うように縦割りの活動ができませんでした。今年度縦割り活動が始まった時は緊張感が高かった6年生でしたが、経験を積み重ね、先月の活動では上手に下学年をリードする姿が見られました。みんなの前で堂々とルールを説明する子、互いに声をかけ合いながら遊ぶ場の準備をする子など、大きく成長した姿がありました。そのような6年生の姿を見て、他の学年の子も優しく下学年に声をかけたり、自分がキャッチしたドッチビーをまだ投げていない子に譲ったりする姿が見られ、相手に対する思いやりが広がっているように思えました。また、最近では運動委員会が中心となって運営している、縦割りグループの長縄跳び「とべとべフレンドパーク」でも、自分のペアの子にタイミングよく入れるように声をかけたり、跳びやすいように回す縄の速さを調整したりするなど、全校に広げていきたい良い姿がたくさん見られました。学校では、活動を通して成長したことを子どもたちに伝えていくとともに、子どもたちが自分や友だちの良いところに気づき、認め、学び合っていくことができるよう、これからも支援をしていきます。



さて、今年度も残すところあと2ヶ月となりました。ご家庭では日頃より頑張りを認め、励ましの言葉をかけてくださっていることと思います。2・3月は、新年度に向けた前向きな気持ちと不安が混じり合う時期です。ぜひお家でゆっくり話を聞いてあげてください。学校でも、丁寧に見守り続けるとともに、自信をもって次の学年に進むため、学習のまとめをしたり成長を振り返ったりしていきます。引き続きご理解とご協力をよろしくお願い致します。